

成和産業株式会社(当時広証)による大熊器械株式会社の医療機器販売部門の営業譲受

(営業譲渡契約締結時期) 1998年7月

(当社の立場) 双方企業への提案と双方からの依頼により仲介

(案件の意義)

成和産業は広島を中心とする医薬品卸売を中心とする企業であるが、同業界では医療機器販売部門も年商約180億(全売上高の25%)と積極的であった。ただ岡山県では中々売上が伸ばせずにいた。一方大熊器械は岡山県で医療機器を約30億、理化学機器を約20億売上げる老舗企業である。しかし、ここ数年病院からの医療機器の値下げ要求も厳しく、また、他社との競合も激化し全国的な再編機運を直視していた。そこで、安定的な利益確保のできる理化学器械分野に特化することで、中堅企業としての生き残りを賭けることとした。こうした両社の意向が一致した。